

タイ王立建築家協会 (ASA) ・大会参加報告

2024年4月30日～5月2日 タイ・バンコク

竹馬大二 (JIA国際委員長)



JIAとASAは1993年にMOU(相互協力協定)を結び、以来、互いの大会への参加、視察団の派遣、若手建築家の交流などさまざまな活動をしている。ASAは毎年タイ国の正月明けの4月後半にASA Expo(展示会兼建材展)と大会とを同時開催しており、それに合わせて協定締結国との交流イベントが行われている。今年の大会テーマは“Collective Language”でアジアのさまざまな国を大会に招待して国際色豊かなイベントが開催された。JIAからは佐藤会長と筆者が4月30日から5月2日まで参加したので報告する。

大会参加者：佐藤尚巳(JIA会長)、竹馬大二(JIA国際委員長)

● Presidential Forum

JIAの建築大会同様にASAも協定締結国の建築家協会会長を招待してPresidential Forum(会長会議)を開催した。ただし、日本に比べると大変盛大で東南アジア、南アジアを中心に15カ国から18団体が招かれ、事前に質問があった下記項目について、各会長が発表を行った。

Q1: What are the difficulties that the young architects are facing in your country(あなたの国で若い建築家が直面している困難は何ですか)?

Q2: How does your institute provide the support for young architects(貴協会では若手建築家をどのようにサポートしていますか)?

詳細は省略するが、給料が安いこと、デベロッパー等への転職が多いこと、協会に所属しない若手が多いこと等、我が国と

似たような状況が共有された。また、コンペや表彰による若手のプロモーションの他に、次世代建築家委員会を協会内に設け若手が自主的に活動を行う場を設けているところもあった。



Presidential Forum集合写真

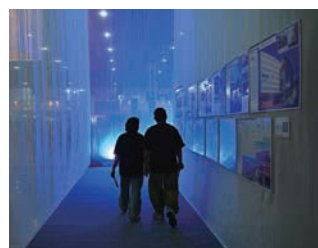
● ASA Expo 24

会場では「Ritual: 祈り」「Shading: 影」「Humanity: 人間性」という3つのテーマを体現する作品を参加国が持ち寄り展示を行うという企画が行われた。国際委員会ではRitualを「狭山の森礼拝堂」(榎NAP建築設計事務所)、Shadingを「GOOD CYCLE BUILDING 001 浅沼組名古屋支店改修PJ」(榎川島範久建築設計事務所)、Humanityを「52間の縁側」(榎山崎健太郎デザインワークショップ)をそれぞれ選出した。会場の照明効果もあって幻想的な展示であったが、アジアの建築家のさまざまな作品が一堂に会した見応えのあるものであった。

他にも、筆者が参加した若手建築家のアイデアコンペ、ASA



日本からも出展した企画展示の様子



の建築各賞の受賞作品、インテリアやランドスケープ協会の受賞作品、ASA会員による作品など、大変規模の大きい展示が行われた。なお、この展示会は無料で一般市民にも開放されており、20万人規模の入場者があるということなので、建築やデザインを広く市民にプロモートするという点で非常に高い効果があると思われる。また、建材展(こちらは10万㎡規模!)も併設され、こちらも大変な盛況であった。



ASA Expo 2024 展示会場

● その他のイベント

● JIA-ASA会議

大会の合間をぬって毎年行われるのが会長同士で2国間交流について協議を行うJIA-ASA会議である。今回はASAから日本の土地区画整理事業やTOD開発の手法を紹介



JIA-ASA会議(チャナ・サンパランASA会長と)

してほしいとリクエストがあった。後日、講演会のようなものをバンコクで催すので、講師を紹介してほしいと要望を賜ったので、国際委員会で協議しているところである(2024年7月現在)。JIAからは11月の別府の建築家大会への招待を行い、今後も継続して交流をしていくことが確認された。

● ASA Experimental Design Competition

ASAが主催する若手建築家と建築学科の学生を対象にしたアイデアコンペが行われ、筆者はその審査員として招聘された。このコンペは、場所や規模にとらわれない創造的なソリューションとデザインの提案を求めたもので、バンコクをケーススタディとして、参加者が都市生活者の感覚的な体験を通して、変化し続ける人々のニーズに応えるデザインソリューションを見つけることが奨励された。エントリーは合計約300あり、この中から優秀賞6作品と佳作とファイナリスト18作品が選定され会場では表彰式と展示が行われた。

ASA Experimental Design Competition 2024 表彰式
受賞者の左隣が審査員を務めた竹馬国際委員長